

くまもと しょう しゃ 障がい者プラン (くまもとけん 熊本県がつくった だい かいめ けいかく 第6回目の計画)

くまもとけん しょう ひと ひと
熊本県では、障がいのある人も、ない人も、
あんしん く しゃかい
安心していっしょに暮らせる社会をつくるため
けいかく すす
の計画を進めています。

けいかく れいわ ねん ねん がつ
この計画は、令和3年(2021年)4月から
れいわ ねん ねん がつ ねんかん
令和9年(2027年)3月までの6年間で行
われています。

【資料1】2ページ「5 ^{じゅうてん か}重点化の^{してん}視点」を^わ分かりやすい^{ないよう}内容にしています。

^{くまもとけん}熊本県は、^{つぎ}次の①から⑤に^{ちから}力を入れて、^いいろいろな^とことに^く取り組んでいます。

① ^{しょう}障がいの^{ひと}ある人への^{さべつ}差別をなくすこと

② ^{ち い き}地域で^{あんしん}安心して^{たの}楽しく^{せいかつ}生活できるようにすること

③ ^{しょう}障がいの^{ひと}ある人をいつも^{ささ}支えている^{ひと}人を^{たす}助けること

④ ^{しょう}障がいの^{ひと}ある人のことを^{かんが}考^{おも}えて^{おも}思いやりをもった^{おも}行動をすること

⑤ ^{じ しん}地震や^{おおあめ}大雨などの^{さいがい}災害や^{かんせん}インフルエンザのような^{かんせん}感染する^{びょうき}病気に^き気をつけて^{あんしん}安心して^く暮らせるようにすること

^{つぎ}次のページから、^{れい わ}令和8年度の^{ね ん ど}目標に^{もくひょう}向かって^お熊本県が^{くまもとけん}取り組^{とりく}んだ^{けっ か}結果を、^わ分かりやすく^{いちらんひょう}一覧表にまとめています。

39の^{なか}チェックポイントがあるので、^よその中から、^よもっと良くなってほ^きしいことや、^{おし}気になったところがあったら^{おし}いくつか^{おし}教えてください。

また、^{じぶん}自分が^{せいかつ}生活の中で^{なか}大事だ^{だいじ}と思う^{おも}サポートや^{ひごろ}日頃の^{せいかつ}生活で^{かん}感じていることがあったら、^き聞かせてください。

令和6年4月から令和7年3月までの取組の結果

1 安心してらせるためのサポートの取組の結果

(AからDで結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】5ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果
1	障がい福祉の施設を出て、町の中で生活を始めた人の数	19人が生活を始めました。	166人に増やします。	D もっともっと頑張ろう
2	障がい福祉施設でくらしている人が、前よりどれだけ少なくなったか	21人少なくなりました。	138人減らします。	D もっともっと頑張ろう
3	障がいのある人が困ったときに相談できる相談センターの数	11の市町村にあります。	45の市町村（全市町村）に増やします。	D もっともっと頑張ろう
4	町で生活する障がいのある人に、困ったことが急に起きたときに手伝ってくれる人の数	市や町の施設に16人います。	31人に増やします。	C もっと頑張ろう
5	発達障がいのある人を手伝えるための勉強会を受けた人の数	これまで、914人が勉強会を受けました。	935人に増やします。	B あと少し頑張ろう
6	発達障がい児の子育ての経験があり、ほかの家族の相談にのってくれるお父さんやお母さんの人数	これまで、102人になりました。	111人に増やします。	B あと少し頑張ろう
7	常に医療の手助けが必要な子どもたちのための話し合いの場所の数	40の市町村にあります。	45の市町村（全市町村）に増やします。	B あと少し頑張ろう
8	常に医療の手助けが必要な子どもたちの生活を手伝える人がいる市町村の数	24の市町村が手伝える人がいます。	45の市町村（全市町村）に増やします。	C もっと頑張ろう
9	行動に強い障がいのある人を手伝えるための研修会を受けた人の数	これまで、3,081人が研修会を受けました。	3,895人に増やします。	C もっと頑張ろう

2 からだの健康や病気を治すことの取組の結果 (AからDで結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】7ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果	
10	精神障がいがある人が、退院してから自分の家で生活できた日数	たくさんの人が365日のうち、316日間、自分の家で生活できました。	326日に伸ばします。	B	あと少し頑張ろう
11	精神障がいがある人で、1年以上病院で生活している人の数	65歳以上の人は、3,213人が病院で生活しています。	2,524人に減らします。	C	もっと頑張ろう
12	精神障がいがある人で、退院して家に帰ることができた人の割合	3か月以上早く退院した人は55.5%（約6人に3人）でした。	68.9%（約6人に4人）に増やします。	B	あと少し頑張ろう
13	心の健康を学ぶための研修会を受けた地域の病院の先生の数	これまで、792人の人が研修会を受けました。	826人に増やします。	B	あと少し頑張ろう
14	自分で命をたち亡くなった人の割合	熊本県民10万人のうち、15.2人が亡くなりました。	13人まで減らします。	B	あと少し頑張ろう
15	むし歯にならない方法や、口の中をきれいにする方法をきちんと勉強した人がいる障がいのある人が暮らす施設の割合	熊本県の施設の75.7%（8つの施設のうち6つの施設）は勉強した人がいます。	87.8%（8つの施設のうち7つの施設）まで増やします。	B	あと少し頑張ろう

3 勉強したり、文化や芸術にふれたり、スポーツをするための取組の結果 (A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】8ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果	
16	小学校で作った障がいのあ る人をサポートする計画が、 中学校や高校にもしっかり 伝えている割合	97.9%の児童の計 画を伝えました。	全員の計画を伝えま す。	B	あと少し 頑張ろう
17	県立の高校のうちエレベータ ーがある割合	29の高校のうち、27校 にエレベーターがあり ます。	29校すべてにエレベ ーターをつけます。	B	あと少し 頑張ろう
18	障がいのある人がスポーツを 楽しめるようにサポートする 人の数	364人が協力します。	650人まで増やします。	D	もっともっと 頑張ろう

4 自分の力で生活できるように、仕事のことをサポートする取組の結果 (AからDで結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】10ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果	
19	障がい福祉施設で働くことをやめて、サポートのない会社で働くことを決めた人の数	319人がサポートを受けず働くことを決めました。	313人まで増やします。	A	よくできました
20	少しのサポートを受けながら、仕事を長く続けている障がいのある人の数	148人が、少しのサポートを受けて仕事を長く続けました。	毎年、58人が仕事を長く続けられるようにします。	A	よくできました
21	障がい福祉施設で働いている人を、仕事と生活の相談ができるところへ案内した数	285人を、仕事の相談ができるところに案内しました。	毎年、433人を案内します。	D	もっともっと頑張ろう
22	仕事と生活の相談ができるところに相談に来た、障がいのある人の数	463人が、仕事や生活のことの相談に来ました。	毎年、700人の相談にのります。	D	もっともっと頑張ろう
23	仕事と生活の相談ができるところに相談に来た障がいのある人が、仕事を始めてからがんばって続けている割合	88.7%の人が、仕事を6か月続けました。	88.0%まで増やします。	A	よくできました
24	がんばって働く訓練をした障がいのある人で、仕事が決まった人の割合	43.4%の人に仕事が決まりました。	60%まで増やします。	D	もっともっと頑張ろう
25	農家さんと初めて一緒に仕事をした障がい福祉施設の数	これまで、27の施設が一緒に仕事をしました。	60の施設まで増やします。	B	あと少し頑張ろう
26	障がい福祉施設（B型の作業所）で働いている人が、1か月にもらっているお金	多くの人が、1か月に約22,572円もらっています。	22,922円まで増やします。	B	あと少し頑張ろう

5 障がいのある人が、必要な情報を受け取れるようにする取組の結果 (A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】11ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果	
27	めが見えにくい人のために、本を点字にしたり読んだりする研修会を受けた人の数	これまで、1,485人が研修会を受けました。	1,525人に増やします。	B	あと少し頑張ろう
28	みみき耳が聞こえにくい人のために、話の内容をまとめてわかりやすく伝える研修会を受けた人の数	これまで、112人が研修会を受けました。	128人に増やします。	B	あと少し頑張ろう
29	めもみもふじゆうな人を手伝うための研修会を受けた人の数	これまで、120人の人が研修会を受けました。	137人に増やします。	B	あと少し頑張ろう
30	みみき耳が聞こえにくい人のために、話の内容を手や表情でわかりやすく伝える「手話」の研修会を受けた人	これまで、1,343人の人が研修会を受けました。	1,355人に増やします。	B	あと少し頑張ろう

6 地域で安心、安全に生活するための取組の結果

(A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】13ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果
31	助けが必要な人がいる施設で、災害のときにどうやって安全に逃げるか計画を作っている割合	94.9 % の施設が、災害の時に逃げるための計画を作っています。	全部の施設に計画を作ってもらいます(100 %)。	B あと少し頑張ろう
32	障がいがあったり、妊娠していたりで長く歩くことができない人のための駐車場を用意してくれているお店の数	これまで、2,212のお店が、駐車場を用意しました。	2,300までお店を増やします。	B あと少し頑張ろう
33	誰もが安全に商品を買ったり使ったりするための見守りのしくみがある市町村に暮らしている人の割合	県で暮らしている62.1 % の人が、商品を買う人や使う人を見守るしくみがある地域で暮らしています。	県で暮らしている半分(50 %) の人たちが、商品を買う人や使う人を見守るしくみがある地域で暮らせるようにします。	A よくできました

7 生活の場所をよくする取組の結果 (A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】14ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果	
34	誰もが使いやすい建物とするために、建てる前からきちんと話し合いをしている建物の割合	83.9 % の建物が、きちんと話し合いをしてから作っています。	全部の建物で話し合いをします (100 %)。	D	もっともっと頑張ろう
35	大きな建物を建てる時に、話し合いがちゃんと終わっていることをお知らせした手紙の数	これまで、4,634件のお手紙で、「使いやすい建物です」とお知らせしました。	5,000件に増やします。	B	あと少し頑張ろう
36	県がつくった家の中で、誰もが使いやすいように工夫された家の割合	誰もが使いやすいよう工夫した県の家は39.4 % になりました。	40 % に増やします。	B	あと少し頑張ろう
37	県が誰もが歩きやすいように工夫して整えた歩道が増える割合	誰もが使いやすいよう工夫した歩道は、これまでに 80.7 % 出来上がりました。	90 % まで 出来る予定はあります。	B	あと少し頑張ろう
38	バスの中で、階段がなく乗やすいバスの割合	83.7 % のバスが、段差がなく乗やすいバスになりました。	80 % のバスを、段差がなく乗やすいバスにします。	A	よくできました

8 障がいのある人への差別をなくす取組の結果 (A から D で結果をあらわしました)

A: よくできました

B: あと少し頑張ろう

C: もっと頑張ろう

D: もっともっと頑張ろう

【資料1】15ページを分かりやすい内容にしています。

番号	チェックポイント	令和6年度の数	令和8年度の目標	令和6年度の結果
39	障がいがある人もない人も、 みんなが気持ちよく暮らせる ために県が決めたルールを 知っている人の割合	46.4 % の人が、県が 決めたルールを知って いました。	55 % (県民の半分 以上の数)にルールを 知ってもらいます。	B あと少し 頑張ろう